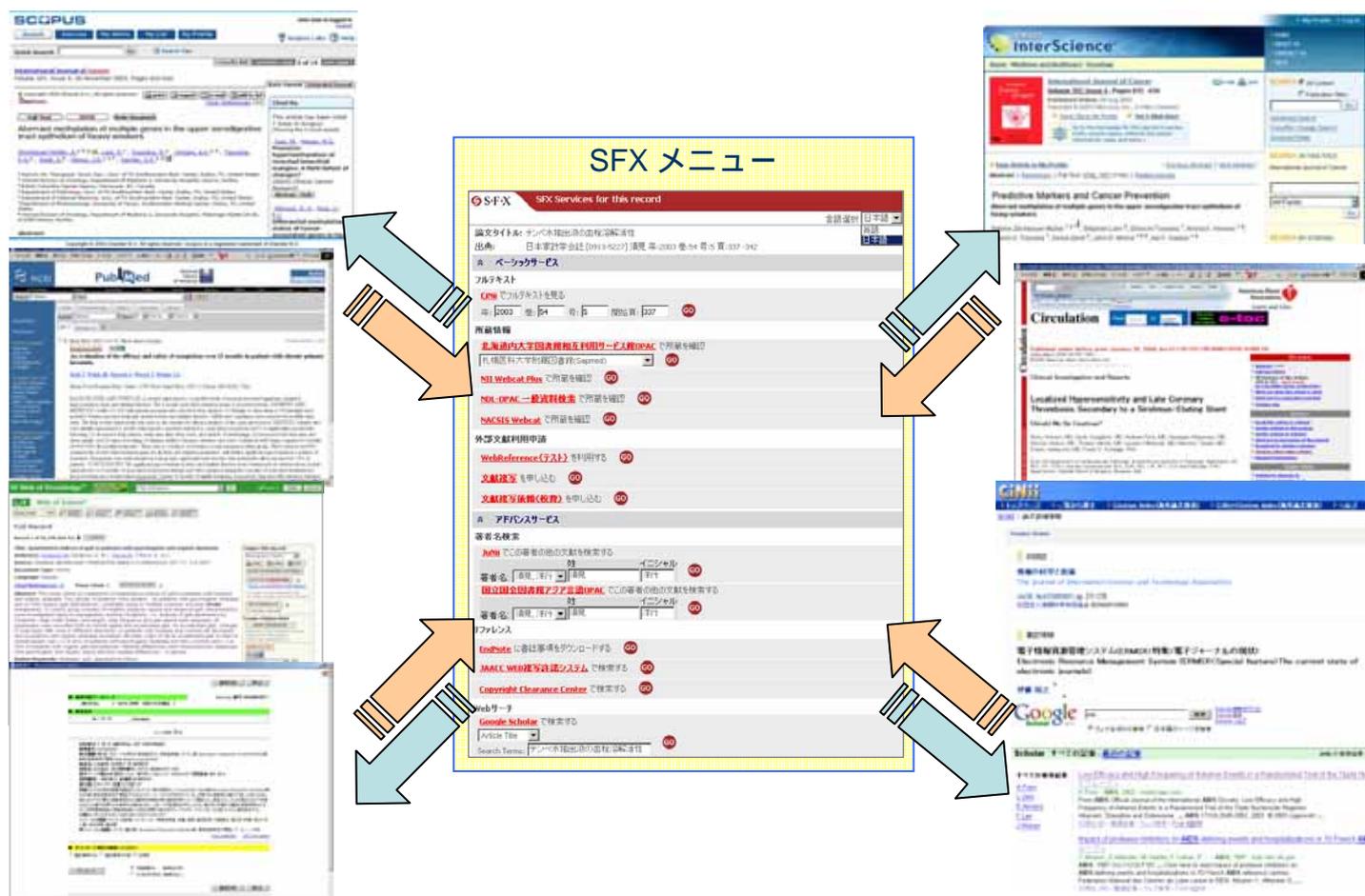


## SFX®とは

SFX は世界中の著名な学術研究機関で使われているリンク誘導システムです。リンクの起点と到達点の間に、SFXメニューを割込ませてリンク先をコントロールするサービスです。



## フルテキスト入手の可能性を徹底的に調べ誘導します

現在では Scopus や Web of Science, PubMed など多くの文献情報サービスにフルテキスト論文へのリンクが登場しますが、このようなリンクは完全ではなく、リンクが表示されない文献でも実際はフルテキストが入手できるケースは少なくありません。

これは主に、機関内の購読タイトルを全て反映していないことや、同一論文の電子版フルテキストが複数のサービスから提供されたり、刊行から数ヶ月後に無料公開される論文に対応していないことが理由になっています。電子的な論文の提供チャンネルは多様化、複雑化しています。

SFX は、インターネット上に存在するさまざまなサービスで提供されている学術情報の中から学内アクセスが可能な情報資源を探しだし、そこにリンクするための「割込みメニュー」を提示します。

## フルテキスト・リンクができない場合に何が出来るか提案します

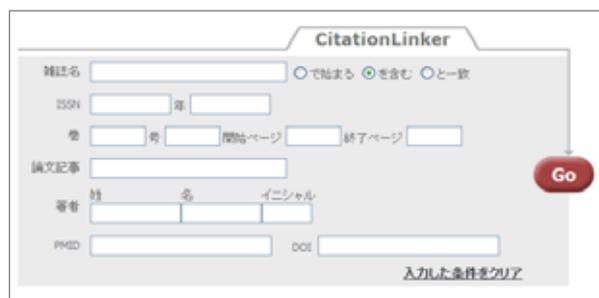
SFX を導入すると、学内からフルテキストの入手ができない文献にもリンクメニューが登場します。電子ジャーナル以外にも、学内外における冊子体の所蔵を探したり、学外発注の申請フォームを自動作成したり、論文購入サービスに接続したりすることで論文を入手する手段を提示したり、同一著者の他の論文を探すなど関連する有用な情報源へのリンクを提示したりします。メニューアイコンをクリックするだけでこのような作業が完了します。

## 電子ジャーナルの発見ツールを提供します

SFX は、適切なリンクを実現するための基盤情報として、学内からアクセス可能な全ての電子ジャーナルをデータ化して搭載しています。このデータを使って「電子ジャーナルリスト」を提示します。電子ジャーナルや、論文を発見しやすくなります。



電子ジャーナルをアルファベットや五十音順にリストするほか、キーワードやカテゴリ、出版社別の検索機能を提供します。



「CitationLinker」に雑誌名、出版年、巻・号、ページ、文献識別番号（DOI）など判っている書誌情報を入力すれば、冊子・電子での所蔵、無料公開ジャーナルでの入手可能性を確認します。

## Google から図書館の資源へ誘導します

Google は情報探索の入り口として多くの利用者が出発点としていますが、その学術情報版である「Google Scholar」に SFX の割込みメニューを表示することで、メニューから図書館が契約している有料情報サービスに接続することができます。



## 世界の学術機関からの要望が製品に反映されています

オックスフォード大学、ハーバード大学、MIT、ロスアラモス研究所、コロンビア大学、エール大学、スタンフォード大学、プリンストン大学、NASA、精華大学、ライデン大学、トロント大学、マギル大学、慶應大学、筑波大学を始め、名門大学、先端研究機関など 1500 機関以上で導入され、ユーザグループから寄せられた要望やアイデアに基づき製品のアップグレードを行っています。